

Shin Club 36

㈱辰 通信 Vol.36
2003年3月
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450
編集発行人: 松村典子

今月のトーク 「現代の鍛冶屋さん」

今月は、現在杉並区で弊社が施工中の共同住宅の意匠金物を担当した若い鍛冶屋さんのお話です。

豊口陽さんは、美大を卒業し、大手ゼネコンに入社、3年半設計部在籍しました。しかし図面に向かって考えているだけの仕事がいやになり、退社して南米ガラパゴス諸島へ象ガメを見に出発します。そして、自分はものを手で作る仕事をしたいのだと再認識し、帰国後、しばらく陶芸などいろいろと自分のやりたいことをやっていました。

ある日、家の柵を直したいという母の言葉に、「俺が作るよ」と思い立ちます。しかし、実際には溶接もやったことがないし、どうしようかと思案していたところ、美大時代の友人から、自分の勤める工房に会いと誘われ、現在の丸鐵工房へ入社。そのまま8年が過ぎ、現在にいたっています。

丸鐵工房は先代の社長が立川飛行機の鍛冶屋としてスタートした工房です。立川飛行機とは、三菱、中島飛行機に次ぐ、中堅飛行機メーカーでした。戦時中は陸軍の軍用機の開発を行いま



立川国際芸術祭2002出展作品
「いのちあるもの」

したが、戦後、「東京電気自動車」となり、プリジストンの石橋正二郎の援助を得て「たま自動車」と名称変更、電気自動車を作ります。1950年の朝鮮動乱で米軍の軍需資材買占めによりバッテリーの鉛価格が高騰し、電気自動車は終焉を迎えました。ガソリンの統制品放出もあり、たま自動車は「プリンス自動車」として、ガソリンエンジン自動車の生産を開始します。プリンスは1966年「日産」に合併され、そしてこの地域の鉄工所を支えた日産村山工場は、日産自動車の再建計画「リバイバルプラン」で2001年閉鎖しました。

現在の丸鐵工房の社長は先代の息子さんです。もちろん鍛冶屋のノウハウを受け継いでおり、若い世代に何か伝えておきたいという気持ち強い方です。商業ベースの仕事は請け負う一方で、イロモノと呼ばれる、意匠の強い部分を、豊口さんがやらせてもらうようになっていったそうです。(丸鐵工房: <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~belle/marutetsu/index.html>)

弊社施工のこのマンションの金物製作の話が来たのは、施主であるK夫妻が画家でいらっしゃるご縁から。マンションの門扉にこだわりたいK様が同じ大学の後輩である豊口さんを紹介してもらい、弊社設計担当者との話し合いから、仕事を引き受けることになりました。作業としては、K様のスケッチを見せてもらい、なるべく自然な形を損なわないように作っていったそうです。ぶどうが好きなK様の奥様の趣向が生かされて、階段やバルコニーの手摺、門扉にぶどうの葉、つるが巻きついたマンションになりました。

仕事だけでなく、豊口さんは昨年、立川市のまちづくりイベント「立川国際芸術祭」にアーティストとして出品しました。世界中から優れたアーティストを招いて行うこのイベントは、2002年で5回目です。「まち全体が美術館」を目指す立川市では、約1ヶ月間に渡って、昭和記念公園や市内各所で、デザインコンテスト、美術展をはじめ、数々のパフォーマンスを行いました。フェスティバル終了後、ほとんどの作品は撤去されましたが、豊口さんの作品を展示した立川紙業は、引き続き作品を置いています。最後に一言、伺いました。

「実家の柵ですか？完成してません。(笑) 結婚して引っ越ししました。今、改修中なんですよ、そのうちやりたいです。どんどん作らないとやばりだめなんです。僕は、ナチュラル系、建築の中に自然にあるものもいいですね。これだけまとまった建築の仕事は初めてです。最初は門扉だけ、という話だったけど、これからこういう形でやれるのもいいなと思います。技術の向上は常に求めている。社長に言わせると、鍛冶屋の修行をするには、ちょっと年をとりすぎとか、でも設計力とかデザインで、補いたいと考えているんです。」

建物は来月号でご紹介いたします。
(本文背景の壁紙は、豊口さんのスケッチ)

TOPICS

「レントハウス茂手木 上棟式」 (2月27日) 横浜市

8つの住戸を、ワンパッケージの直方体に組子細工のように納めた共同住宅です。敷地が北側道路の南傾斜地であるため、道路側からは2層、南側からは3層の建築に見えます。RCの直方体は、室内側を壁・天井打ち放し、外壁側を外断熱の上、ガルバリウム鋼板で包んで単純なワンパッケージの建築としています。

構造:RC造、地上2階 地下1階
用途:共同住宅
設計:鈴木孝紀
㈱ハル建築研究所
完成予定:2003年4月



「Park Lane Court お引渡し」 (3月14日) 中央区

外断熱を施し、輻射冷暖房のPS-HRCも装備、壁は珪藻土とホタテ貝殻が原料の「チャフウォール」を採用しました。ホルムアルデヒドを吸着し、消臭、防カビ効果に優れています。4,5階のオーナー邸には、上下階ともトローキッチングが入り、また和室には、越前和紙のふすまが入りました。無垢のひのき床には植物性のクリア塗装を行うなど、健康に配慮した内装になっています。

構造:RC造、地上5階
用途:共同住宅
設計:㈱辰一級建築士事務所



「白金の家 上棟式」 (3月6日) 港区

「住宅は単に住むだけのものではない。この家は近代的設備の利便性ととも、ステンドグラスやマントルピースといったところに古きヨーロッパの伝統技能を取り入れ、文化を楽しむという観点を大切にしたい」という考えが反映された住宅です。

構造:RC造、地上3階 地下1階
用途:専用住宅
設計:ライフネットプランニング
完成予定:2003年6月



「溪山荘 お引渡し」 (3月14日) 中野区

川沿いの桜並木、新宿副都心の景色を楽しめる、単身者向け賃貸マンションです。お施主様が、弊社が施工した「ジーク池袋」を気に入られ、仕様もそれに準じ、収納が豊富で設備も使い勝手のよい空間となっています。工事にあたっては、元からあった植栽を生かすため遊歩道側へ移植したり、住宅街の道幅が狭く車での搬出入に苦労がありましたが、無事終了し、竣工前に入居者もすべて決まりました。

構造:壁式RC造、地上3階
用途:共同住宅
設計:大場大司建築設計事務所



WHAT'S NEW

～ from this month's magazine ～

現場からの建築指南 「外断熱は「後張り」で」 『日経アーキテクチュア』 2003.3-3号 (p76-78)

上記連載コラムで、弊社の畠中広隆工事長のインタビュー記事が掲載されています。以前から弊社では外断熱工法の施工実績がありましたが、コンクリートに断熱材パネルを打ち込む方法は失敗例が多いため止めました。断熱材とコンクリートの間に空隙が生じて、確認する方法がなく、後から空隙に雨水が浸入することがわかったからです。

外断熱に限らず、現場の施工を担当する立場から、設計と実際の施工において経験したいくつかの問題点を率直に話しています。特に住宅に置いて、住み手の使い勝手をきちんと考えて設計していただきたいと少し辛口のコメントを呈しております。「お客様、設計者、施工者の3者の柔軟なコミュニケーションが大切だ」という、弊社のポリシーを改めてお伝えしております。どうぞご覧ください。(写真左から:畠中広隆工事長、掲載誌)



INFORMATION

㈱辰 安全衛生協力会安全大会

㈱辰協力業者の皆様、社員出席のもと、恒例の総会を行います。会社の現況報告を中心に意見交換をさせていただきます。よろしく申し上げます。

日時:4月11日(金) 17:30～
場所:渋谷商工会館(渋谷区渋谷1-12-5)

リサイクルファニチャーを通じて新しいワークスタイルをプロデュースする 「Reco Project」 記憶のデザイン賞受賞 & ショールームオープン

弊社でオフィスリフォームを施工された「大伸社」様が展開する、リサイクルファニチャー「Reco Project」(レコプロジェクト)が、第6回「国際デザイン・リソース・アワード・コンペティション」『記憶のデザイン™』で、最優秀賞を受賞されました(2002年12月:8作品/応募作品16カ国260点)。

なお、大伸社様では3月3日、レコプロジェクトのショールームを千駄ヶ谷にオープンされました。事前にお電話、またはインターネットのサイト上でご連絡の上、お出かけください。ワークテーブルのネット販売も開始しています。(右地図参照)

TEL/FAX:03-3405-5721 URL: <http://www.recoproject.com/>

